



飛鳥神社の歴史について紹介します

飛鳥神社は富田一色の氏神さまとして親しまれ場所がよいので、普段から、ちょっとお参りしていこうという人がたくさんいます。祭神は八重事代主命、建御名方命、市杵島姫命、大山祇命の4神（※1）です。氏子総代会が境内整備に注力していますので地区のお宝として十分自慢できます。他地区の方もぜひお参りください。

由緒については、境内手水舎に掲げられています。神主家によれば当神社は、弘仁2(811)年8月13日に一色の浜に一つの社殿が流れつき、里人はそれを引き上げ境内に安置し、八重事代主命を祀り、浜神楽を行い大いに喜んだとあります。

明治6(1873)年、本殿、鳥居、手水舎、狛犬、社務所が揃っていたので村社になり、その後明治40(1933)年に神饌幣帛料指定社となりましたが、終戦後この制度はなくなりました。

けんか祭りは飛鳥神社の祭礼で、8月14日、15日の2日間行われる行事です。もとは大念仏行事といわれました。祭りのクライマックスは15日の午後に神社前の広場で繰り広げられる、男衆の練り合いです。大鉦をたたいて神社に入ろうとする宮守町と、それを阻止しようとする大太鼓を持った他の町との激しいぶつかり合いです。防護柵がありますので安心して見学できます。

最後に境内整備に献身的に尽力している篤志家の存在で、これまでの献納品としての構造物をお知らせします。鳥居提灯、おみくじ掲示板、手水舎の竹の柵、鎧塀、木の鳥居、物置の整備、拝殿天井の張替え等多数あります。



(※1)

- 【八重事代主命】
(やえことしろぬしのみこと)
- 【建御名方命】
(たけみなかたのみこと)
- 【市杵島姫命】
(いちきしまひめのみこと)
- 【大山祇命】
(おおやまつみのみこと)

富洲原地区 令和7年1月1日現在

面積

2.02 Km²
(四日市市24地区内で最小)

世帯数

3,963 世帯

人口

8,227人
(男性4,090人・女性 4,137人)

地震

災害から命を守るために!

台風

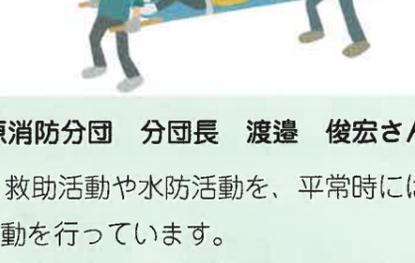
地震・津波・大雨・台風・土砂災害など、いつ起きてもおかしくない自然災害。いざというときには、日頃の備えや避難場所の確認が大切です。



富洲原地区連合自主防災隊 隊長 坂本 寛さん

防災隊では、月に一度の防災倉庫の点検や防災訓練などを実施しています。最近、各地で想定外の災害が多数起っていることもあり、今年度は、他地区の防災訓練の見学、情報交換などを行い、防災マニュアルを見直しました。

災害に立ち向かうためには、地域の垣根を越え、富洲原地区全体で物事を考えることが大事だと思います。住民のみなさんも自分の命を守るため、防災訓練にぜひ参加し、防災意識を持ってほしいです。



富洲原消防分団 分団長 渡邊 俊宏さん

災害時に消防分団は、消火活動、捜索・救助活動や水防活動を、平常時には、消火・防災訓練、救命講習会や防災啓発活動を行っています。

住民のみなさんには、防災訓練に参加したり、家庭で防災について話し合ったり、また、防災グッズの備えや避難経路の確認など、一人ひとりが防災意識を持って自分にできることをしていただきたい。



① 総合防災訓練の様子



③ 小学生への防災教室



④ 防災倉庫点検



⑤ 防災倉庫の中身



防災倉庫の中には、発電機、非常食、投光器、組み立て式トイレ、紙おむつ、毛布、リヤカー、担架、つるはし、スコップ等いろいろなものがあります。

② 防潮扉開閉訓練



富洲原地区 津波避難ビル 一覧 (令和7年1月現在)

30年以内に80パーセントの確率で南海トラフ地震が、起こることが予想されています。四日市市での揺れは、震度6強以上。想定される第1波津波は、70数分後に到達し、最大5mの津波が襲ってきます。遠くに避難できない場合は、最寄りの津波避難ビルや、高い建物へ避難しましょう。

所在地(地区)	名称
	富洲原小学校・富洲原中学校
富田一色	有限会社 前川 ゴールドライフ富田
松原	ディオワールド四日市店 サニーハイツ松原公園A棟・B棟 レジデンス富洲原 コーポエデンA・B 日の本保育園 ひのもと第二こども園 ラウムズ富洲原 藤和シティコープ富洲原
天カ須賀	ライオンズマンション富洲原ニューシティ 壱番館・弐番館・参番館 グレイスフル



ローリングストックのススメ!

普段の食品を少し多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費して、消費した分を買い足します。常に一定量の食品を備蓄しておきましょう。



- ◆タンパク質 ▶ 缶詰(魚介・肉類)
- ◆ビタミン・ミネラル・食物繊維 ▶ 野菜ジュース、ドライフルーツなど

津波

富洲原地区連合自主防災隊や富洲原消防分団のメンバーは、富洲原地区の住民を守るため、常日頃から訓練等を行っています。私たちも防災訓練への参加や家族で話し合うなど、**自分の事**として防災意識を高めましょう!

洪水

皆さんは懐かしき学び舎”はまぎく保育園”を覚えていますか。現在の富洲原こども園です。はまぎく保育園は昭和26(1951)年4月に設立され、この地域にもたくさんの卒園の方もいると思います。定員は160名だったそうです。それから昭和46(1971)年 富洲原保育園となり令和6(2024)年の本年度より富洲原こども園として運営されております。

現在は0歳児から5歳児まで110名の園児さんが通われています。こども園は、幼稚園と保育園の両方の役割を果たし、保護者の就労にかかわらず、教育・保育を一体的に行う施設です。

今回は懐かしき昭和30年～40年頃の写真を掲載しました。



現在の富洲原こども園



昭和37年



ホームページリニューアル

令和6(2024)年12月から富洲原地区のホームページがリニューアルされました。従来からの「地区広報とみすはら」「センターだより」「ごみ収集日程表」等がカラーとなり、カラフルで見やすい画面になりました。「センターだより」は、平成25(2013)年までさかのぼって閲覧できます。地域の皆様にご活用いただければ幸いです。

■ 富洲原地区ホームページ

<https://tomisuhara-yokkaichi.com/>
音声入力は「富洲原地区ポータルサイト」と入力してください。



《スマホ》



《QRコード》



《パソコン》

富洲原地区
社会福祉協議会会長の
藤田 信男 です。

昨今は、オレオレ詐欺や闇バイト等のニュースが新聞・テレビやSNSで報道されたり、発信されてなんとなく不安を感じる世の中です。隣近所とも仲良く暮らし、助け合いのある安全で安心な富洲原地区でありたいものですね。

編集委員

【委員長】 水谷 武彦
【副委員長】 酒井 寛

【委員】 荻子 正明 黒田 公雄 伊藤 則夫
水谷 芳春 中西 典子 水谷 雅寛